

## 3995 欧州 18カ国の旅：ホテルに帰還・明日の作戦を練る

粉雪舞い散る状況になってきた。珈琲タイム、ホテルでは味気ない。

帰還の途中、喫茶できそうな素敵なお店が見つかった。

道路は雪道の郊外。外部から見えたお店の内部、とつても、暖かそうに思えたので・・・

分厚いダウンジャケットを羽織っていても、寒さはこたえる。

しばし、チョコレートを楽しんで、時間を過ごした。



窓の外は、粉雪舞い散る程度。ウインドーの大きなカド店。人が途絶えた凍結の雪道。

翌日早朝の光景だが、徒歩8分程度の距離に、この光景があった。

天気情報も確認したい。フロントでの音楽会のイベント情報も入手したい。

部屋での資料整理始め、テレビ番組も楽しみたい。



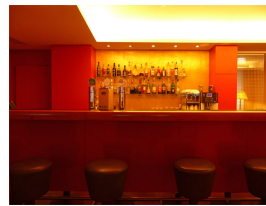
フロントマンの「おもてなし」は、文句がつけられないほど親切だった。

ピンキリでの宿。違いが見えてくるので面白く、楽しい。

旅の楽しみ方の一つにフロントの対応。日本人ひとり旅。外観も着飾った状況ではない。

国やクラスによって違うが、公平に接客してもらっているように思えた。

日本の場合はどうなのだろうかと、ふと・・・ 感想は遠慮。



明日、雪景色はどうなっているのだろうか。明日の楽しみの一つ。

実は、ホテル探し、大変だった。偶然、これも体験。旅も最終章。立地も久楽流には好立地。

空室なしと、断られることもある。私には、人間ウォッチング。

ひとり旅には、常に、ハプニングはあるもの。今回のこのご縁。体験するも良し。

夢想。花より団子。朝食も楽しみの一つ。大正解だった。